

【別紙】令和3年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立高等学校 定時制)

(A4判横)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	未来を創る しなやかでたくましい人材の育成
目指す学校像	新しい時代の教育を創造し、しなやかでたくましい人材を育てる川口市のリーディング校

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	
学校関係者 (教職員を除く)	3名
事務局 (教職員)	5名

学 校 自 己 評 価						
領 域	年 度 目 標			年 度 評 価 (令 和 4 年 1 月 日 現 在)		
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> 単位制総合学科として募集学級減に対応した新たなシステムの構築が必要である 新型コロナウイルスに対応した柔軟な計画と学びの継続を保障することが求められる 	<p>「キャリア教育・進路指導を核に進路実現を支援する総合学科を構築する」</p> <ul style="list-style-type: none"> ①総合学科の良さを発揮するシステムの構築 ②新型コロナウイルスに臨機応変に対応した学校運営の計画を立てる 	<ul style="list-style-type: none"> ①キャリア教育を核とした系列の再編するためにプロジェクトチームを編成し学校運営の改善を図る ②臨時休業を想定しリモート授業も含め授業への影響を最小限にするための準備を進める 	<ul style="list-style-type: none"> ①プロジェクトチームを中心に総合学科のよさを活かす将来構想が策定できた ②導入されたGIGAスクールの活用について教職員の研修を行うとともに生徒に対しても試行することができた 	A	<ul style="list-style-type: none"> 本校の教育が目指す生徒像を定め、定時制総合学科としての特色を明確にする必要がある
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> 次期学習指導要領に基づき教育課程の全面実施に向けた準備をする必要がある 生徒の学力に大きな差がある 日本語を母国語としない外国籍生徒に特別な指導を行っている 	<p>「新教育課程の実施を準備する」</p> <ul style="list-style-type: none"> ③進路決定者100%を目指す指導体制 ④日本語を母国語としない生徒をはじめ、一人一人の個性や能力に応じた支援の工夫をする 	<ul style="list-style-type: none"> ③プロジェクトチームを編成し単位制・総合学科の特性を生かした進路指導・キャリア教育のシステムを構築する ④外国籍生徒への特別な支援に加え学力上位者への支援の充実策を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ③4年間を通じた進路指導・キャリア教育のしくみができ、面談指導の充実により進学希望と就職希望を明確にした進路指導ができた ④日本語指導の継続的な実施により支援することができた 	A	<ul style="list-style-type: none"> 中学校で力を発揮しきれなかった不登校生徒や外国籍生徒の学び直しの場としての機能をキャリア教育を軸に一層充実させる 進路決定に向けて計画的な活動ができない生徒もいたため一層の対策が必要である
開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 夜間中学との連携や役割分担について一層の研究が必要である 市立の定時制課程として学校の内容や情報発信が不十分である 	<p>「学校を核とした地域づくり」をめざす</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤夜間中学との具体的な連携を工夫する ⑥市民のニーズを把握し的確な情報発信をすることで選ばれる学校を目指す ・倍率1倍以上を 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤夜間中学との相互授業参観や合同研修を行う ⑥担当者を増やしホームページの発信数を増やすとともに内容の充実を図る 学校説明会と見学の在り方を工夫する 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤夜間中学との合同研修は実現しなかったが進路関係の連携を図ることができた ⑥ホームページによる広報を活性化することができた 学校説明会には昨年度を上回る100名以上の参加者を得ることができた 	B	<ul style="list-style-type: none"> 芝西中学校陽春分校 (夜間中学) との連携強化と役割分担をテーマに合同で研究・研修を行う必要がある
教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の研修システム構築が遅れている 定時制勤務であり教職員数も少ないことから研修の場の確保が難しい 	<p>「授業第一主義」</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑦校内研修を活性化させ教職員の授業力向上を図る ⑧学校外の研修への参加を積極的に推奨する 	<ul style="list-style-type: none"> ⑦教職員の相互授業参観による研修を実施する 全日制的研修と連動した研修を実施する ⑧未来を拓く学びプロジェクトに複数教科が参加する 	<ul style="list-style-type: none"> ⑦相互授業参観については組織的に行うまでに至らなかった ⑧未来を拓く学びプロジェクトをはじめ県教育委員会主催の研修会に教員を派遣できた 	B	<ul style="list-style-type: none"> 校内組織の中で研修をリードする組織の充実を図ることで組織的。計画的な研修システムを構築する必要がある
施設・設備等の管理	<ul style="list-style-type: none"> 夜間の通学による自転車事故、不審者・防犯対策に安全面の配慮が必要である GIGAスクール端末やネットワーク環境など最新鋭のICT施設を授業に効果的に活用する必要がある 	<p>「施設設備の効果的活用と安全配慮」</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑨本校特有の課題に対して安心・安全の確保に努める ⑩GIGAスクール端末やネットワーク環境をはじめ最新鋭の施設・設備を生かした教育活動を展開する 	<ul style="list-style-type: none"> ⑨自転車事故防止の登校指導、不審者・防犯対策、グラウンド工事中の安全確保と安全点検を行う ⑩ICTの有効活用に向けて教職員のリテラシー向上を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ⑨自転車による重大な事故は無かったものの引き続き交通安全対策を強化する ⑩GIGAスクールの導入によりICTを活用した授業やオンライン授業実施の環境を整える準備ができた 	B	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した学習環境について研究を進める 災害対策も含め安心・安全な学校づくりと施設の有効活用について全日制課程や附属中学校と連携して推進する

学校関係者評価	
※実施日	令和4年2月25日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> 総合学科の良さを活かす将来構想ができ、特別感をますます明確にして地域に発信してほしい。 導入されたGIGAスクールについて、教職員の研修を実施し、生徒への試行もできたことは素晴らしい。 	
<ul style="list-style-type: none"> 学校として進路キャリアの仕組みを構築し、充実した進路指導ができたことは、定時に進学した生徒の魅力となっている。 日本語の指導はとても大切なこと、多くの生徒の未来につながってほしい。指導のノウハウを陽春分校や各中学校にも伝えていただきたい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ホームページでの広報活動は良いことである。学校説明会に昨年度を上回る参加者があったことは、うれしいことだ。 陽春分校との連携が図れ、ありがたい。 	
<ul style="list-style-type: none"> 相互授業参観を実施し、資質向上を図ろうとした取り組みは素晴らしい。継続して実施できると問いと思う。 コロナ禍で、出張等が難しい中未来を拓く学びプロジェクトで研修できたことが良かったと思います。生徒へ還元できるとよい。 	
<ul style="list-style-type: none"> 夜間の通学による安全管理は大変だと思いますが、引き続き安心安全に登下校できるよう指導していただきたい。 防災訓練等では、校外との連携が難しい面もあると思うが、生徒の意識を育てながら、より安心安全な学校を目指してほしい。 	